

Before
After

道しるべ

道徳通信

上尾市立太平中学校
道徳通信 第2号
令和5年6月8日(木)
発行者 校長 井浦 博史

心を育てる道徳の時間

教頭

ある学校で、運動会の短距離走の練習をしていたAさんとBさんが、ゴールをした途端、転倒してひざに同じ程度のすり傷を負いました。保健室の先生はAさんとBさんに全く同じ手当をしました。数日後、Aさんの傷はすっかり良くなりましたが、Bさんの傷はまだ全く治りません。この違いは何でしょうか。二人の精神力の違いでしょうか。Aさんは好き嫌いせず何でも食べて、早寝早起きを心がけて健康的な生活をしているかもしれません。Bさんは、夜遅くまでゲームをしているのかもしれない。



では、どうしたらBさんはAさんのようになるのでしょうか。今晚、最高級の牛肉をたくさん食べさせても、翌日にAさんのようにはなりません。健やかな体を作ることは、簡単なことではなく時間がかかるものです。

次の場合はどうでしょうか。Dさんが、「おい、Eのやつ、生意気だからいじめちゃおうぜ。」と、AさんとBさん、Cさんの3人を誘います。AさんとBさんは「いじめはいけないことだよな。でも一緒にいじめないとDさんにいじめられるかもしれない…」と悩んでいました。

Cさんはどうしたかという、「よし、Dさんと一緒にいじめよう」と、すぐにその誘いに乗ってしまいました。

そして、悩んでいたBさんは「やっぱり僕はいじめられるのが嫌だから、Dさんの言うとおりにEさんをいじめようかな」と思いました。

Aさんは、「やはり僕は、いじめはできない。先生に相談してみよう」と決心しました。この違いは一体どのようなことなのでしょう。

前半は、体力の問題、後半は心の問題です。CさんがAさんのように、「やっぱりいじめはできない。先生に相談してみよう」と考えられるようになるには、どうしたらよいのでしょうか。今晚Cさんに説得しても、翌日にAさんのようにならないでしょう。体もそうであったように、心もすぐに養えるものではありません。けれども、不思議なことに心も体も崩れるのは速いのです。心も体も、健やかに育てていくということは、とても難しいことなのです。

(赤堀博行著 「特別の教科道徳」で大切なことより)

みなさんは、これから先様々な壁にぶつかり、立ち止まり、それでも乗り越えなくてはならない場面が待ち受けていると思います。そんな時によりよく生きるために、道しるべとなってくれるのが、道徳の授業で学んだことです。ぜひ今年も、たくさんの友だちの考えなどに触れることを通して、道徳の学習を自分の心と向き合い、友だちや先生と語り合い、心を育てる時間にして欲しいと思います。そして、その学びが将来、自分のよりよく生きるための道しるべとなります。



太平中学校では、全校の道徳の授業の時間を水曜日の4時間目に設定し、担任だけがクラスの道徳を受け持つのではなく、学年教員全員で道徳の授業を持ち回ることをしています。そうすることで、多様な視点で子供たちをみることができ、子供たちの良いところをたくさん見つけることができます。

ぜひご家庭でも心を育てる時間をお子様とつくっていただき、学校・家庭・地域一体となり、一緒に子どもたちの心を育てていければと思います。

大谷翔平選手と運

教務主任

大リーグで大活躍をしている大谷翔平選手。大谷選手は昔から有名でした。小学校3年生のときリトルリーグで野球を始め、全国大会へ出場をしています。またある試合では18のアウトのうち17の三振を記録したこともありました。中学校に入学する時点で既に球速が120km出ていました。中学時代所属していたシニアリーグでも全国大会に出場しています。花巻東高校では1年生春から4番。1年生秋からエース。甲子園には2年夏、3年春の2度出場。高校2年生の夏に出場した甲子園で150kmを記録。高校3年生の夏は甲子園には出場できなかったものの、県大会で高校生最速記録の160kmを記録し、日本のプロ野球だけでなく大リーグからも注目される選手になりました。その後日本ハムファイターズに入団、アメリカのロサンゼルス・エンジェルスに移籍しました。先日のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で活躍し、決勝戦の最後にアメリカのキャプテン、マイク・トラウト選手を一球もかすらせることもせず三振に取り、ミット、帽子を投げ捨て全身で喜びを表した姿を覚えている人も多いと思います。



そんな大谷選手が高校1年生の時に書いたのが下のオープンウィンドウ64と言われている目標達成シートです。真ん中に自分の達成したい目標を書きその周りに目標達成に必要なことを8つ書き、そしてその周りに8つの行動目標を書いたものです。高校1年生時は高校卒業後日本のプロ野球のドラフト会議で8球団から1位指名されるのが目標だったのですね。その目標達成のために体力面、技術面（コントロール、キレ、スピード、変化球、メンタル、体づくり）をあげているのは当然ですが、その中に人間性と運をあげているのが印象的です。人間性では愛される人間、計画性、感謝、継続力、持続力、信頼される人間、礼儀、思いやり、感性の8つの行動目標をあげ、運ではゴミ拾い、部屋そうじ、審判さんへの態度、本を読む、応援される人間になる、プラス思考、道具を大切に使う、あいさつという行動目標をあげていました。

大谷選手がグラウンドのゴミを拾ってポケットに入れる行為がニュースで流れることがあります。大谷選手は高校1年生の時の監督から「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい」と教えられたそうです。落ちているゴミを見つけることができるのは注意力がある人。そのゴミを拾えるのは心に余裕がある人です。そんな行為を高校生するときからあたりまえに続けていることが、彼の心の余裕に繋がり運を呼ぶことになっているのかもしれないね。

⑧ 体のケア	① サプリメントをのむ	② FSQ90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	⑧ 角度をつける	① 上からボールをたたく	② リストの強化
⑦ 柔軟性	⑧ 体づくり	③ RSQ130kg	リリースポイントの安定	① コントロール	不安をなくす	⑦ 力まない	② キレ	③ 下半身主導
⑥ スタミナ	⑤ 可動域	④ 食事夜7杯朝3杯	下肢の強化	体を開かない	⑥ メンタルコントロールをする	⑥ ボールを前でリリース	⑤ 回転数アップ	④ 可動域
⑧ はっきりとした目標・目的を持つ	① 一喜一憂しない	② 頭は冷静に心は熱く	⑧ 体づくり	① コントロール	② キレ	⑧ 軸でまわる	① 下肢の強化	② 体重増加
⑦ ピンチに強い	⑦ メンタル	③ 雰囲気流されない	⑦ メンタル	ドラ1 8球団	③ スピード160km/h	⑦ 体幹強化	③ スピード160km/h	③ 肩周りの強化
⑥ 波をつくらない	⑤ 勝利への執念	④ 仲間を思いやる心	⑥ 人間性	⑤ 運	④ 変化球	⑥ 可動域	⑤ ライナーキャッチボール	④ ピッチングを増やす
⑧ 感性	① 愛される人間	② 計画性	⑧ あいさつ	① ゴミ拾い	② 部屋そうじ	⑧ カウントボールを増やす	① フォーク完成	② スライダーのキレ
⑦ 思いやり	⑥ 人間性	③ 感謝	⑦ 道具を大切に扱う	⑤ 運	③ 審判さんへの態度	⑦ 遅く落差のあるカーブ	④ 変化球	③ 左打者への決め球
⑥ 礼儀	⑤ 信頼される人間	④ 継続力	⑥ プラス思考	⑤ 応援される人になる	④ 本を読む	⑥ ストレートと同じフォームで投げる	⑤ ストライクからボールに投げるコントロール	④ 奥行きをイメージ